

22年度決算の概要

健康保険  
(一般勘定)

収入			支出		
科目		決算額(千円)	科目		決算額(千円)
経常収入 通常の健康 保険業務に おける収入	保険料	12,308,062	経常支出 通常の健康 保険業務に おける支出	事務費	247,490
	国庫負担金収入・他	9,445		保険給付費	7,747,381
	繰入金(退職積立金)	19,255		法定給付費	7,526,898
	特定健康診査・ 保健指導補助金	7,201		付加給付費	220,483
	診療所収入	19,288		納付金	5,858,630
	雑収入	51,865		前期高齢者納付金	2,540,155
				後期高齢者支援金	2,742,391
		退職者給付拠出金		528,359	
		老人保健拠出金		47,725	
		保健事業費		564,556	
		保険料還付金		2,858	
		診療所費		324,354	
		連合会費		5,725	
		積立金	2,562		
		その他	2,728		
	経常収入合計①	12,415,116		経常支出合計②	14,756,284
経常外収入 その他の収入	調整保険料収入	207,080	経常外支出 その他の支出	調整保険料還付金	47
	繰入金(別途積立金)	2,350,000		財政調整事業拠出金	205,761
	出産育児一時金補助金	7,812			
	財政調整事業交付金	149,552			
	経常外収入合計	2,714,444			経常外支出合計
	収入合計③	15,130,138		支出合計④	14,962,092
収入支出差引 等(千円)					
収入支出差引額(③-④)		168,046	→処分内訳	別途積立金	166,745
経常収入支出差引額(①-②)		△2,341,168		財政調整事業繰越金	1,301

介護保険  
(介護勘定)

収入			支出		
科目		決算額(千円)	科目		決算額(千円)
介護保険収入	介護保険収入	1,092,462	介護納付金	介護納付金	1,311,102
	繰入金	250,000		介護保険料還付金	551
	雑収入	191			
	収入合計(木)	1,342,653			支出合計⑥
収入支出差引 等(千円)					
収入支出差引額(⑤-⑥)		31,000	→処分内訳	準備金	31,000

介護保険 (介護勘定)  
収支 決算残金は3100万円

23億4100万円の赤字決算となりました。予算時に見込んでいた29億5100万円の赤字額こそ下回ったものの、前年度の赤字額15億7700万円を大幅に上回っています。保険給付費・納付金等の増加が財政悪化の要因といえます。

不足分については、別途積立金から23億5000万円を繰入し、1億6800万円を繰越金として22年度決算を終了しました。

別途積立金の取り崩しにも限界があり、23年度からは健康保険料率を千分の85に引き上げさせていただきます。

保険給付費・納付金の増加に加え、先の震災による医療費等への影響や景気の低迷、さらには高齢者医療制度改革の遅れ等、厳しい状況がしばらく続くことが予測されます。

そうしたなか計機健保では、収支の推移を見極めながら、23年度以降の各種事業の効率的な実施に向けた見直しや、健康保険料率の改定についても引き続き検討しています。ジェネリック医薬品を活用するなど、医療費の節減にご協力ください。

介護保険料率は据え置いたものの被保険者数の増加により、保険料収入は前年度比4000万円増の10億9200万円になりました。

一方、国に納める介護納付金が前年度より1億4300万円増の13億1100万円。不足分は準備金からの繰入金等で補てんし、3100万円を繰越金として決算を終了しました。